

# 2021 教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ 「環境体験教室」				
題名・副題	「動物かくれんぼ」ミニこいのぼりを作って保護色実験 ～魚や昆虫の食物連鎖(食物網)を学ぶ～				
月日・時間	4月25日(日)10:00～12:00				
開催場所	はまぎん こども宇宙科学館 1階・会議室				
部会・講師名	自然環境部会 武澤研二	参加数	17名	講師数	6名
写真・画像					
	感染対策を行って授業を進めました		昆虫切り絵と春秋の野原写真で保護色実験		
					
	こいのぼりを作って海底写真と保護色実験		「きのうなに食べた？」食べた生物種を分類・まとめ		
成果解説	<p>生物多様性の根幹である食物連鎖(食物網)の中で、動物が生き残る仕組みとして保護色があることを学び、食生活が多様な生物資源に支えられていることを理解することが、この教室の狙い。</p> <p>始めに、動物が保護色で餌と天敵から身を隠すことを、「何がどんな工夫で隠れるか」などクイズも交えて解説しました。クイズを多く取り入れたことで子どもたちが積極的に参加してくれました。昆虫切り絵を野原の写真に隠す保護色実験を行い、更に、魚など自由に色塗りした紙製ミニこいのぼりを工作して海面やサンゴ礁の背景写真に隠して保護色効果を確認しました。ミニこいのぼり作りと保護色実験は学年を問わず好評でした。「食べる/食べられる」ことで生き物が繋がっている(食物網)ことを実験で学びました。</p> <p>次の、食べたもの調べ「きのうなに食べた？」では、講師と一緒に食べた食材と元の生物種を陸海の動植物と微生物・キノコに分けてまとめました。日常の食生活もいろいろな生きものが支えていることを実感してもらえました。世界と日本の食品ロスの現状を解説し、この授業と関連するSDGsの4つの目標を紹介、低～中学年ながらSDGsを知っていた子どもが多かったことに希望を感じました。</p> <p>最後に、子どもたちへのメッセージとして「私たちは様々な生き物を食べています。私たちの命と健康を支える生き物に感謝し、好き・嫌いなく、残さず大切に食べましょう」と伝えました。授業のアンケートではほとんどの子どもから「楽しかった」との感想を得ました。科学館の新型コロナウイルス感染症予防対策を配慮しての授業でした。</p>				